

Gallery PARC

アーティスト山本聖子が、メキシコ、オランダ滞在制作を経て Gallery PARCに出現させた「極彩色の闇」

注目のアーティスト、山本聖子。海外での滞在制作を経験してスケールアップし、また深化したテーマを、2015年3月にGallery PARCで発表した。その作品は、今年の秋、メキシコでも披露される



山本聖子展「白い暴力と極彩色の闇」は、Gallery PARCで2015年3月3日から22日まで開催された。



1.メキシコで滞在制作中に行った、子供たちとのワークショップ。創作のアイデアやテーマが、現地の人との交流から生まれることも。
2.地図に立てて灯したカラフルなキャンドルが溶けあう作品。
photo by Hyogo Mygyuda



Profile 1981年京都生まれ。大阪芸術大学、京都造形芸術大学大学院修了。国際芸術センター青森で滞在制作(2010年)、VOCA展出品(2011年)、六甲ミーツ・アート芸術散歩(2011年)公募大賞、東京ミッドタウンプログラム(2011年)にてアートコンペ・グランプリ受賞。Gallery PARCで2012年に個展を発表。

さまざまなクリエイションをサポートする公募展「Gallery PARC Art Competition 2015」開催

Gallery PARCでは、様々なクリエイション活動へのサポートの一環として、幅広いアーティスト、クリエイターから作品展示・展覧会プランを募集。審査により3名(組)を選出し、Gallery PARCでの展覧会として開催する「Gallery PARC Art Competition 2015」を、2014年に引き続き実施。2014年には、

応募された44のプランから「絵画碑: Obelisk picture 薬師川千晴」「時を泳ぐ人:むらたちひろ」「A Sense of Mapping-私の世界の測り方:松本絢子・山城優摩 企画:森川穰」の3つのプランを選考し、7月~8月に連続で開催した。本年は田中秀介展で6月30日からスタート(スケジュールは下記を参照)。



薬師川千晴(1989年滋賀県生まれ)は「Gallery PARC Art Competition 2014」が初個展。展示されたのは「絵画碑」の大作。7月20日(月・祝)~8月30日(日)京都芸術センターでのグループ展「ハイパー トニック・エイジ」、10月にはGallery PARCで個展(スケジュールは下記を参照)。

Gallery PARC

GRAND MARBLE

Gallery PARC 2015年後半のスケジュール

6月30日(火)~7月12日(日)
「Gallery PARC Art Competition 2015」1
田中秀介「私はここにいて、あなたは何処かにいます。」(絵画)
「Gallery PARC Art Competition 2015」の入賞者展第1弾。起床から就寝までの1日の出来事を表現。

7月14日(火)~7月26日(日)
「Gallery PARC Art Competition 2015」2
中尾美園「図譜」(絵画)
確かな技術により、過ぎた時間の記憶・記録を絵画として再構成。

7月31日(金)~8月9日(日)
「Gallery PARC Art Competition 2015」3
明楽和記「白」(インスタレーション)
色彩をテーマに活動する作家が、Gallery PARCを、「ホワイトキューブ」化する試み。

8月15日(土)~8月30日(日)
「タイトルとホコラ 2」(インスタレーション)
谷本研・中村裕太らによるタイトル貼りの地蔵ホコラのフィールドワーク発表。2014年の8月に開催された展覧会の第2弾。

9月1日(火)~9月13日(日)
「寺岡海 展」(インスタレーション)
日常生活の中で浮かび上がった問題意識をテーマにするインスタレーション。

9月18日(金)~10月4日(日)
「松井紗都子 展」(絵画・インスタレーション)
様々なモチーフや具体的な要素のカラーズによって、そこに「不在」の証明を試みる。絵画と共に写真作品もあわせて展示。

10月6日(火)~10月18日(日)
「藤川怜子 展」(絵画)
鉄による彫刻から絵画・インスタレーション・パフォーマンスなど、幅広いメディアを用いる藤川怜子による絵画展。

10月20日(火)~11月1日(日)
「薬師川千晴 展」(絵画)
Gallery PARCが取り組んでいる公募展の2014年入賞者、薬師川千晴による個展。本展では「万有引力」と「本」をモチーフとした作品を発表。(上の関連記事参照)

詳しいスケジュールはWEB参照

※展覧会のタイトルは、いずれも仮です。
また、内容・日時などは予告なく変更する場合がございます。



御池通	地下鉄京都市役所前駅	
ル・グランマールカフェ クラッセ 2F Gallery PARC		
クリス・1928ビル	三条通	
ユニー		
御堂町通	寺町通	河原町通
		四条通

京都市中京区弁慶石町48(三条通御幸町西北角)三条ありもとビル
ル・グランマール カフェ クラッセ 店舗内2F
Tel・Fax. 075-231-0706
11:00~19:00(金曜日のみ20:00まで)月曜休
<http://www.galleryparc.com/>

Special report

京都・祇園の舞妓「紗月」さんが、芸妓さんに「衿替え」一生に一度の、華やかなお披露目

写真集が出版されたほどの人気の京都・祇園甲部の舞妓さん、紗月さん。舞妓さんから衿替えして、芸妓さんへとデビューしました。その華やかな姿を、GRAND MARBLE PRESSの読者に、ご披露いたします。

京都の街を彩る舞妓さんと芸妓さん。その違いをご存じでしょうか?舞妓さんは、実は芸妓さんになるための修業をしている期間の姿で、数年のあいだ舞妓さんとして活躍した後は、ステップアップして芸妓さんになります。そのデビューを「衿替え」と呼びます。芸妓さんになると髪型、帯など装いが替わり、ぐっと洗練された姿に。花街の女性にとって、「衿替え」は、一生に一度の晴れやかな門出。その期間には特別な着物や髪型をして、お世話になった方々へご挨拶、祝福を受けます。初々しい舞妓さんから、大人の色香を漂わせる芸妓さんへの変身。花街の小さなドラマです。

舞妓さん時代の紗月さん

若い舞妓さんのいでたち。足元は「おこぼ」、だらりの帯に、赤い衿と帯揚げをアクセントに、かわいらしさを強調。髪には月替わりの簪(かんざし)。浴衣は、夏にお稽古に行く時などに着ます。



舞妓さんを卒業...

衿替えの前のわずかな期間、舞妓さんはフォーマルな黒紋付を身に付けて、髪型は「先笄」(さっこう)と呼ばれる形に結び、歯にはお歯黒をつけます。これは江戸時代の既婚の女性の姿をかたどっているといわれています。

紗月さんに心境を聞いてみると「...ドキドキです」。



芸妓さんになりました

芸妓さんになった最初のご挨拶も本衣装(黒紋付)で。舞妓さん時代には髪は地毛で結っていましたが、芸妓さんは鬘(かつら)をつけて、櫛(くし)とシンプルなサンゴの簪でシックに装います。「着物の帯が軽くて、ラクです...」(紗月さん)。黒紋付のあと上の写真のように替え衣装(色紋付)でお披露目をします。



PRESENT

紗月さんが応援するマンガ「花に嵐~靈感舞妓・鈴花事件帖~」を10名様にプレゼント

祇園の「靈感舞妓」鈴花が、その能力を活かして、さまざまな事件を解決してゆく...竹内未来のマンガ「花に嵐~靈感舞妓・鈴花事件帖~」(秋田書店・刊)を10名様にプレゼントします。ご希望の方は、ハガキに住所・氏名・年齢「GRAND MARBLE PRESS15号の好きな記事」を書いて、ご応募ください。

送り先:グランマール京都本社(住所はp13)「花に嵐」プレゼント係まで。締め切りは12月末。当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※マンガはフィクションで、実在の祇園や舞妓さんとは関係がありません。

